

七十  
1950-2020  
ANNIVERSARY



広報せき

# Seki Gocoro

2020  
01

No.1707

関商工書道部

ギセキを未来へ

祝市制七十周年



卷頭  
特集

新年のごあいさつ

関心

Seki Gocoro 01

## TOPICS

- 2019年関市の歩み ..... 4-5P
- パブリックコメント募集 ..... 6P
- INFORMATION ..... 14-24P
- 子育てカレンダー ..... 27P



## キセキを未来へ

関市長 尾関 健治



輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、本市にとつて大きなニュースが2つありました。まず、1つは「平成」最後の年として、元号と同じ地名がある武儀地域が、再び全国の話題となつたことです。「ありがとう平成時代」と銘打つた催しが行われ、平成の改元時を思い出させるほどの賑わいをみせました。平成時代への感謝を示し、新たな令和時代へと希望をつなぐ出来事となりました。もう一つは、ラグビーワールドカップ2019日本大会で優勝した南アフリカ代表チーム「スプリングボックス」が、本市でテストマッチの事前キャンプを開催したことです。激しい練習を一般公開したほか、市内小中学校や関商工を訪問し、児童生徒とも交流しました。世界トップレベルの選手と交流する機会を持ったことは、将来を担う子どもたちにとって、大変貴重な経験となりました。

そして、本年は、令和の新しい時代に向け、「防災・減災」「ICT」「経済・雇用」「教育」「伝統・文化」の5つの重点課題を取り組んでまいります。特に、防災減災対策では、津保川河川改修や停電対策をはじめとするハード整備のほか、全自治会を対象とした灾害避難カードの作成、住宅の耐震化支援などのソフト事業

もあわせて推進いたします。また、IC-Tの導入により、これまでの行政サービスを刷新し、新たな時代に適合した住民サービスを進めてまいります。そのほか、刀物のまちの観光・産業・文化の拠点となる刀物ミュージアム回廊は、着実な整備を図ります。

本年は、市制70周年・合併15周年の記念すべき年を迎えます。これまでの軌跡を振り返り、未来への希望と誇りを醸成するために、「キセキを未来へ」をキャッチフレーズとして、市では70の取組・記念イベントを展開する予定です。市民の皆さまはもちろん、市民団体や事業者の皆さま方にもご賛同・ご協力いただき、市全体でこの市制70周年を盛り上げたいと考えています。

今の時代を生きている者の責任として、数多の先達が築き上げてくださったこの関市を、次の世代に、より良いまちとしてつないでいく新たな決意を胸に、本年も市政運営に全力投入することを改めてお約束申し上げるとともに、市政に対しましてご理解とご協力を賜りますことを心からお願い申し上げます。

新春の門出にあたり、皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。



# 安心して暮らせる まちの実現を

閔市議会議長 村山 景一

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、新たな期待と希望に満ちた令和2年の初春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は市議会の活動に対しましてご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返ってみると、集中豪雨・台風など自然災害が依然として猛威を振るい、全国各地で甚大な被害が発生しました。

犠牲になられました方々に、深く哀悼の意を表するとともに、被害に遭われました方々にお見舞い申し上げます。

いつ起ころかわからない自然災害に対しては、引き続き、官民一体となつて防災・減災対策に取り組み、災害に強いまちづくりを目指してまいります。

我が国の経済状況は、国の諸施策の効果もあり、雇用・所得環境の改善が続くなか、今後も堅調に回復していくことが期待されているところです。

市を取り巻く状況は、少子高齢化・人口減少社会の到来への早急な対応が求められており、市民サービスの向上、市民の安全・安心の確保、魅力あるまちづくりの推進など行政の果たす役割はますます大きくなっています。

こうした中で、議会といたしましては、行政と議論を重ね、ともに創意工夫し知恵を出しながら、子どもから高齢者まですべての世代が、安心して心豊かに暮らせるまちづくりを進め、「住んでよかつた、いつまでも住んでいたい」と実感できる施策を積極的に推進していくたいと考えております。

市議会が、市民の皆様と行政の架け橋となり、より身近な存在として、本年も全議員が一丸となつて、市民の多様な意見を市政に反映させるとともに、二元代表制の一翼を担う機関として議会の機能を十分に發揮しながら、市民福祉の向上と市政の発展に努めてまいります。

また本年は、昭和25年の市制施行から70周年、平成17年の市町村合併から15周年という大きな節目を迎えます。これら の記念事業を通して、これまでの本市の歩みに思いを馳せ、今後も市政のさらなる発展を目指して、市民の皆様とともに盛り上げていきたいと考えております。

市民の皆様におかれましては、本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますことをお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。



# 2019年の関市の歩み

いろいろなことがありました。主な出来事を振り返ってみましょう。

女性ならではの視点で  
PRや啓発活動に取り組む。  
関市消防団に女性分団を設立



## 復興



復興支援コンサート(上之保)



体験型防災アトラクション「フラッド」(富野)



矢野きよ美さん講演会(武儀)

災害から1年。

「つながろう! 関市」を合言葉に各地で復興イベント開催(富野、武儀、上之保)



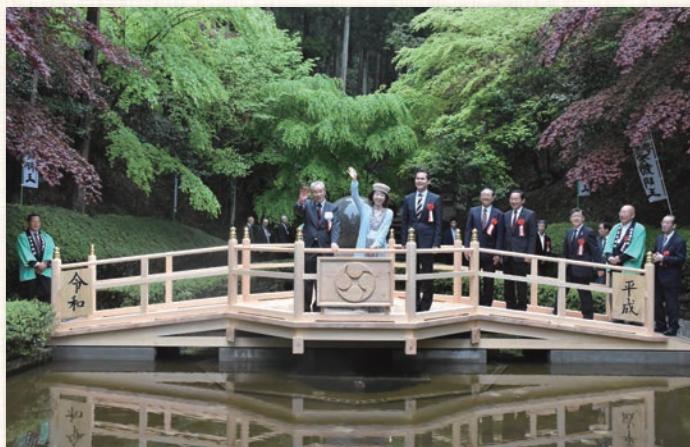
防災・減災対策の推進 せき市民防災フェア初開催



世界トップレベルの選手が躍動!  
ラグビー南アフリカ代表チーム  
「スプリングボクス」が来閑



ラグビー



新元号「令和」へつなごう! ありがとう! 平成時代  
元号と同じ地名がある武儀地域が、  
再び全国の話題に!



6月

5月

4月

3月

2月

片倉グラウンド竣工式  
新学校給食センター  
起工式



関市立板取川中学校  
第6回全国小・中学校リズムダンス  
ふれあいコンクールで2連覇を達成し、  
凱旋ダンスを披露



1月